



会長挨拶

佐藤 友彦

皆さん、こんばんは。先ずはお忙しい中、多くの皆様にご出席を賜り誠にありがとうございます。また、本日は1年に1回の情報集会となっております。是非、積極的にご意見や候補者を出して頂ければと思います。

さて、少し前の会報に一昨年(2021年)の木村 AG に吉村会員が入会された際に受けたインタビューの記事が掲載されていました。その中で吉村会員が話されていた内容に感銘を受けたので少しお話させていただきます。内容としてはロータリーに入りたい事は?という問いにこう答えられていました。【多くの人と人を繋げたい】皆様方も同じではないかと思いますが、ロータリーでは入会前から良く存じ上げている方もいらっしゃるでしょう、お顔やお名前は知ってはいるけれども、話をした事は無い。また、全く存じ上げない方も時にはいらっしゃるのではないのでしょうか? 私達は事業を行う上でより多くの方との出会いは大変、有意義な事であると同時にロータリーに所属する大きな魅力の一つだと思います。

是非、本日が一人でも多くの方との出会いに繋がる、有意義な1日になります事を祈念してご挨拶に代えさせていただきます。本日もよろしくお願い致します。ありがとうございました。

幹事報告・連絡事項・スマイルボックス

なし

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名
会員 22名 欠席3名(免除者2名)
出席率 95.00%
前回の修正出席率 68.18%
前々回の修正出席率 86.36%
事前メイクアップ 0名

情報集会

情報集会では、担当理事の高杉会員より開会の挨拶の後、3班に分かれ、増強に資すると思われる情報の共有と議論が行われました。議論の後、各班の班長よりとりまとめられた情報が発表され、会員内での増強の方針が確認されました。情報集会終了後は懇親会が開催され、特に新会員の宮川、内藤両会員を囲んでの楽しいひとときとなりました。

今回の情報集会の会場は下記の通りです。

会場 エフェメラ(〒413-0001 静岡県熱海市泉109-22)



佐藤会長挨拶 / 情報集会開会の挨拶(高杉会員)



情報集会後の懇親会の様子

2025-26 年度国際ロータリー会長に ブラジルのデ・カマルゴ氏が選ばれる

サントアンドレ・ロータリークラブ(ブラジル、サンパウロ)会員のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が、会長指名委員会によって 2025-26 年度国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、9 月 15 日に正式にノミニーとなります。

デ・カマルゴ氏は、トップダウンでロータリーの公共イメージを強化したいと考えています。

「今日のロータリーは、入会者と資金の面で競合相手が多く存在する」とデ・カマルゴ氏。「特にいくつかのゾーンにおいてブランドを若返らせる必要があり、会長が世界中のロータリアンに向けて話せるように、コロナ禍で学んだ会議ツールを活用するべきです。また、政治、コミュニティ、ビジネスのリーダーとの長期的パートナーシップを確立する必要があります。私たちの最大の資産である 140 万人のボランティアの存在をアピールしていきましょう」と述べます。

デ・カマルゴ氏は 任命とガバナンスのためのロータリーの手続きを改善したいとも考えています。

「ロータリーは、役職に任命する際のシステムをより透明性のあるものとし、明確な資格要件を設け、データに基づいて結果を評価するべきです」

デ・カマルゴ氏は Grafica Bandeirantes の元社長であり、ブラジルにおける印刷業界のコンサルタントを務めています。印刷とグラフィック業界の関連団体で会長や委員長を歴任し、これにはブラジル・グラフィック・テクノロジー協会やブラジル・グラフィック産業協会が含まれます。

所属ロータリークラブがスポンサーしている障害のある子どもたちのためのプロジェクト、Casa de Esperanca(希望の家)の理事も務めており、このプロジェクトで毎年、15 万人の障害児を支援しています。

米国ならびにドイツに留学経験があり、EAESP-

Fundação Getúlio Vargas からビジネス、Faculdade de São Bernardo do Campo から法学の学位を取得。1974-75 年度にロータリー青少年交換学生として米国ミネソタ州に留学し、以来このプログラムに積極的にかかわっています。

1980 年にロータリー入会。1981 年、24 歳でクラブの青少年交換役員を務め、以来、国際ロータリー理事、ロータリー財団管理委員、RI ラーニングファシリテーター、委員会委員と委員長、タスクフォースメンバーなどを歴任。妻デニースさんとともにメジャードナー、ロータリー財団ベネファクターとなっています。

デ・カマルゴ氏のロータリーでの目標をまとめたインタビューとビジョンの資料は、My Rotary からお読みいただけます。

2025-26 年度国際ロータリー会長を選ぶ指名委員会のメンバーは次の通り:

Larry A. Lunsford(委員長、Kansas City-Plaza ロータリークラブ、米国)、Mary Beth Growney Selene(幹事、Madison West Middleton ロータリークラブ、米国)、Şafak Alpay(Istanbul-Sisli ロータリークラブ、トルコ)、Ann-Britt Åsebol(Falun-Kopparvågen ロータリークラブ、スウェーデン)、James Anthony Black(Dunoon ロータリークラブ、スコットランド)、Basker Chockalingam (Karur ロータリークラブ、インド) Celia Cruz de Giay (Arrecifes ロータリークラブ、アルゼンチン)、Susan C. Howe(Space Center [Houston] ロータリークラブ、米国)、黒田正宏(八戸南ロータリークラブ、日本)、Roger Lhors (Pont-Audemer ロータリークラブ、フランス)、Frederick Hsiu-Ming Lin(Taipei Tungteh ロータリークラブ、台湾)、Anne L. Matthews(Columbia East ロータリークラブ、米国)、三木明(姫路ロータリークラブ、日本)、Eun-Soo Moon(Cheonan-Dosol ロータリークラブ、韓国)、Ekkehart Pandel(Bückerburg ロータリークラブ、ドイツ)、Sambasiva Rao Patibandla(Jubilee Hills ロータリークラブ、インド)、Steven Snyder(Auburn ロータリークラブ、米国)

記事:Etelka Lehoczky 出典:My Rotary